

事業所名 東京YMCA PIT西早稲田

公表日 2026年 5月29日

利用児童数：29名(28家庭)

回収数：18名 又は19名(18家庭)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保 されていると思いますか。	16	2				・活動内容に応じて、 施設内の空いている教室や 屋上、中庭等を活用し、活動 スペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2			・活動時の内容が見られて いないため。	・教室での活動の様子を 保護者からの要望に応じて 見学の機会を設けていき ます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化 された環境になっていると思いますか。また、 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切に なされていると思いますか。	16	2			・活動時の内容が見られて いないため。	・館内にはエレベーター 手すりを設置しており、 利用者が安全に過ごせる 環境づくりに努めています。 また、設備面については 保護者会等で紹介し、必要に 応じて改善や対応を検討して いきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる 環境になっていると思いますか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっていると 思いますか。	17	1			・活動時の内容が見られて いないため。	・利用者の状況に応じて 机等の配置を工夫し、 安全かつ安心して過ごせる よう配慮しています。 ・毎回支援終了後には、 使用した玩具や机等の消毒を 行い、破損の有無についても 確認しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの 特性等に応じた専門性のある支援が受けられて いると思いますか。	18					・今後も利用者の特性や状況 をスタッフ間で共有し、協力 体制の下で支援していきま す。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると 思いますか。	18					・支援プログラムは、 東京YMCAのホームページで 公開しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと 保護者のニーズや課題が客観的に分析された 上で、放課後等デイサービス計画（個別支援 計画）が作成されていると思いますか。	18					・個別支援計画の面談は 年2回、対面で実施して います。また、可能な範囲で 本人にも同席していただい ています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等 デイサービスガイドラインの「放課後等デイ サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に 設定され、その上で、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	18					・支援計画の内容について ご不明な点がございましたら、 交付後であってもいつでも お気軽にお問い合わせ ください。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が 行われていると思いますか。	18					・定期的にモニタリングを 実施し、支援目標や支援 内容の見直し・検討を行っ ています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されない よう工夫されていると思いますか。	17	1				・工作や集団ゲーム、 プランターでの野菜作り、 季節行事等、多様な活動を 企画し、楽しみながら参加 できるよう支援しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	6	2	4	・そのような機会を 希望していないため、 十分と思いません (このデイサービスの中 で、現在様々な環境の こどもとの交流が出来て いると感じています)。	・利用者と保護者のご要望を 確認しながら、希望者を募り 地域交流プログラムを検討 していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					・入会面談時にご説明しています。また、変更があった場合には、お便りやメール等でお知らせしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17			1		・個別支援計画の面談で概要を説明させていただいております。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2				・1月に保護者支援プログラムを開催し、卒業生の保護者から進路選択や現在の生活等についてお話を伺いました。参加者アンケートの結果も踏まえながら、今後の開催内容を検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18					・送迎時や電話、メール等を活用し、利用者の状況について丁寧に共有をしています。水泳活動については、半年に1回アクアティックノートを配布するとともに、動画撮影を通して活動の様子をお伝えしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					・年2回の個別支援計画面談を対面で実施しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					・今後も、保護者の皆様からのご意見やご相談を丁寧に伺っていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2		3		・毎年の恒例行事である夏まつりには、保護者やご家族をご招待し、まつり終了後には保護者会も開催しています。今後は、きょうだい同士が交流できる機会についても検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				・引き続き、児童発達支援管理責任者を中心に、職員全員が相談を受け付け、丁寧に対応していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					・職員一同、利用者や保護者のお話を丁寧に伺い、適切な対応に努めていきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18					・月1回通信を発行し、活動報告や行事予定をお知らせしています。 ・自己評価の結果については、東京YMCAのホームページで公表しています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2				・個人情報に関する書類は、鍵のかかる書庫を鍵のかかる部屋で管理しています。 ・パソコンのデータ管理は、法人のルールの下、管理しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時 対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明 されていますか。また、発生を想定した訓練が 実施されていますか。	18					・保護者の皆様には、 メールにて各種マニュアルの リンクをお知らせし、ご確認 いただいています。今後、 修正や加筆等が あった際には、改めて お知らせしていきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練が 行われていますか。	18					・教室では年3回（うち一時 避難場所までの避難訓練は 年1回）、プールでは年2回、 避難訓練を実施しています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための 計画について周知される等、安全の確保が 十分に行われた上で支援が行われていると 思いますか。	16	1			1	・ヒヤリハット報告書を作成 して、職員で確認の上、安全 の確保に取り組んでいます。 ・個人面談や保護者会の 機会も活用し、災害時の 対応等をお知らせして います。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、 事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の 状況等について説明がされていると 思いますか。	16	1			1	・日頃から保護者の皆様と 丁寧に連絡を取り合い、 事故や怪我が発生した 際には、速やかに電話連絡を 行い、状況について報告・ 説明しています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18					・一人ひとりの利用者との コミュニケーションを 大切にし、安心して過ごせる 環境づくりに努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				1 ・○曜日はPITに行くものと ルーティンとして受け入れ ている。 ・いつも楽しみにして ます。	・楽しみながら学びや様々な 活動に参加できるよう、一人 ひとりに応じた支援を行って いきます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	18					・今後も利用者や保護者の 皆様との信頼関係を大切に しながら、継続して支援 活動に取り組んでいきます。